

梯きざはし

2025.7
Vol.

39

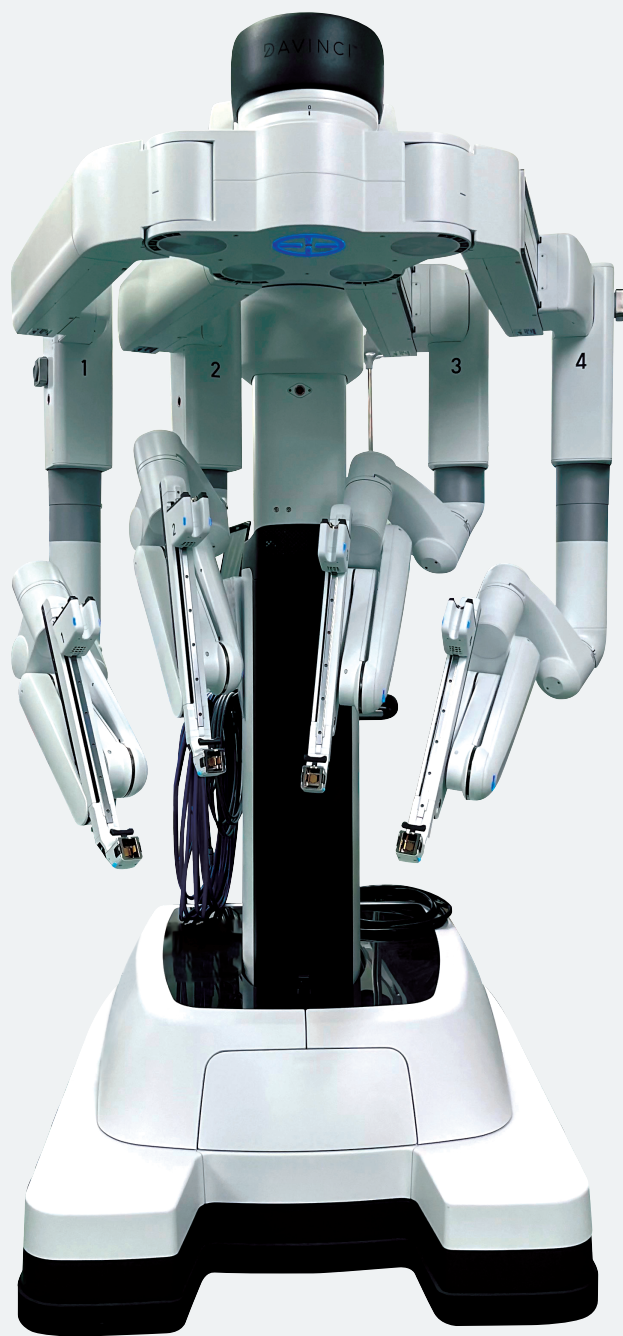


ダヴィンチ特集
排尿ケアサポートチーム

手術支援ロボット **ダヴィンチ** を導入しました。

那覇市立病院では、2024年4月に手術支援ロボット「da Vinci Xi」を導入しました。

2024年6月から腎・泌尿器科における前立腺がん、および消化器外科における大腸がんの手術を開始しました。また、2024年10月に肝胆膵外科における肝臓がん、2024年11月には膵臓がんの手術を開始しています。さらに、2025年7月に産婦人科にて婦人科良性疾患



の手術、2025年10月には呼吸器外科領域の肺がんの手術を開始予定です。

患者さんへの体の負担が少なく、回復が早い治療法

ダヴィンチは従来の腹腔鏡手術と同じようにいくつかの小さな切開部を作り、医師の操作に従って内視鏡・メス・鉗子（人の手首よりはるかに大きく曲がって回転する手首を

備えた器具）を動かして手術を行う内視鏡手術支援ロボットです。

傷口が小さいため、出血が少なく術後の回復も早いことが特徴です。

また、高画質で立体的な3Dハイビジョンシステムの手術画像の下、人間の手の動きを正確に再現することが可能です。

医師は鮮明な画像を見ながら鉗子を使用し、精緻（きめこまかい）な手術を行うことができます。

泉 恵一朗

- 日本泌尿器科学会専門医・指導医
- 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医
- ダヴィンチ術者certificate取得

本永 葵

- 日本泌尿器科学会専門医
- ダヴィンチ術者certificate取得

長嶺 さつき

- ダヴィンチ助手certificate取得



腎・泌尿器科

泌尿器科領域の手術

当院、腎・泌尿器科では前立腺がんに対する治療としてロボット支援手術を行っております。ロボット支援手術は、前立腺がん治療においても精密な操作を行うことができます。早期に日常生活に戻ることが可能となり、より安全で患者さんに合わせた最適な治療を行い、がんの根治性はもとより体の機能維持を目指します。他の疾患においても順次ロボット支援手術による質の高い手術を導入し地域の皆様のため、質の良い医療を提供します。

対象疾患 前立腺がん

術式

ロボット支援腹腔鏡下
前立腺悪性腫瘍手術

泌尿器科領域におけるロボット支援手術の特徴

1. 手術中の出血を最小限に抑えます

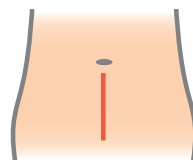
開腹手術では輸血が必要になることも多いですが、ロボット前立腺手術ではほとんど必要としません。

2. 排尿機能や性機能の温存

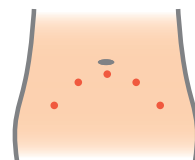
前立腺周囲の神経や血管を保護することで、手術後の排尿機能や性機能の低下を最小限に抑え QOL を保ちます。

3. 術後の体調の回復が早い

傷口が小さいため、術後の体調の回復が早くなり入院期間が短縮します。



開腹手術



ロボット支援手術



腎・泌尿器科／診療体制
(2025年4月1日現在)

大城 琢磨

- 日本泌尿器科学会専門医・指導医
- 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医
- ダヴィンチ術者certificate取得



消化器外科

胃・大腸

大腸外科領域の ロボット支援手術

大腸外科領域は、低侵襲である腹腔鏡手術が普及しており、手術療法の中心となっています。同様に低侵襲手術であるロボット支援手術に関しては、2018年に直腸手術、2022年に結腸悪性腫瘍手術が保健適応と

なり、普及が進んでいます。腹腔鏡手術との違いは、1〜2ページでも掲載されていますが、特に直腸がんに関しては、狭い骨盤内での手術となり、直腸周囲には前立腺や膀胱、子宮などの重要臓器があり、さらに排尿や射精を司る神経が近接しているため、より精密な手術操作が要求されます。ロボット支援手術により高い根治性と機能温存の両立が期待できます。

対象疾患 大腸がん（直腸がん、結腸がん）

術式

ロボット支援下結腸悪性腫瘍切除術
ロボット支援下直腸切除・切断術

那覇市立病院、肝胆膵外科では、肝臓がん・膵臓がんに対するロボット支援手術を含む低侵襲外科治療が、健康保険を使った最新医療として受けられます。左記に詳細をお示しします。

表1. 日本人の癌死亡ランク トップ5 (2023年)

	男女合計
1位	肺
2位	大腸
3位	膵臓
4位	胃
5位	肝臓

出典：がん情報サービス 人口動態統計がん死亡データ

膵臓がん(第3位)、および肝臓がん(第5位)は日本人の癌死亡のトップ5にランクされています(表1)。

肝胆膵領域の低侵襲 (ロボット支援を含む) 手術

肝胆膵

知花 朝史

- 外科専門医
- 消化器外科専門医

知念 順樹

- 日本外科学会 専門医
- 日本消化器外科学会 専門医
- 日本消化器外科学会 消化器がん治療認定医
- 日本がん治療認定機構 がん治療認定医
- 日本内視鏡外科学会 技術認定医(消化器・一般外科領域)
- インфекション コントロールドクター



肝臓領域

対象疾患

良性腫瘍（肝嚢胞、血管腫など）～
悪性腫瘍（原発、転移性）

術式

ロボット支援肝部分切除術（図1）

脾臓領域

対象疾患

良性～低悪性度腫瘍（脾嚢胞性腫瘍）～
悪性腫瘍（原発、転移性）

術式

ロボット支援脾合併脾体尾部切除術
（図2）

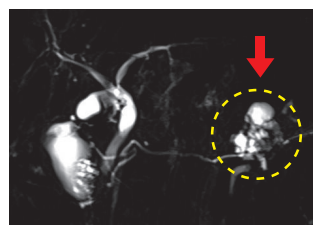
図2. ロボット支援脾合併脾体尾部切除術

図1. ロボット支援肝部分切除術

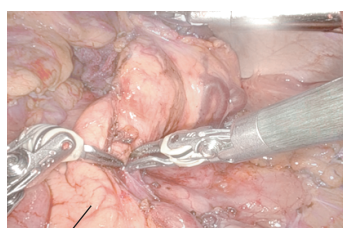
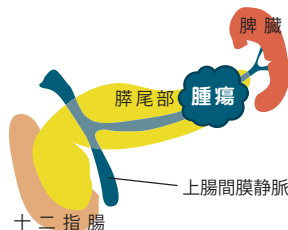
当院では肝臓および脾臓手術において低侵襲手術（腹腔鏡下、およびロボット支援）を用いた最新治療を受けることができます。

担当医は、低侵襲（腹腔鏡

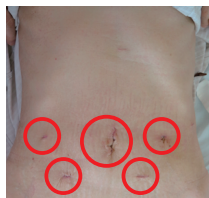
下およびロボット支援）肝切除約200例、低侵襲（腹腔鏡下およびロボット支援）脾切除約150例を執刀している経験豊富な外科医が対応いたします。



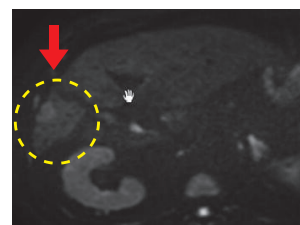
MRCP検査による脾尾部腫瘍



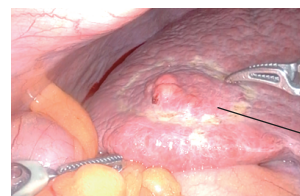
ロボット支援
脾体尾部切除



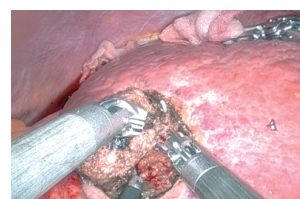
／傷口が小さい／



MRI検査でS6に肝腫瘍



S6肝腫瘍



ロボット支援肝腫瘍切除



切除完了後

消化器外科診療体制 （2025年4月1日現在）

川畑 康成

- 肝胆脾外科高度技能指導医
- 内視鏡外科技術認定医
- 肝臓専門医・指導医
- 日本胆道学会認定指導医
- 日本脾臓学会認定指導医
- 消化器外科専門医・指導医

排尿 ケアチーム

はじめに

排尿自立支援は2016年から保険収載され、当院でも2019年から排尿ケアチームの活動を開始しています。目的としては①「尿道カテーテルの早期抜去や尿路感染症の予防」、②「排尿管理方法は問わず、自力で排尿管理を完結できること」が目的であり、その先にある健康寿命の延長を目指しています。

チームの活動内容

私たち排尿ケアチームは、毎週木曜日に病棟のラウンドを行い、排尿のことで気にな

る患者さんについて担当の看護師と一緒に話し合っています。排尿日誌という記録を使いながら、患者さんの排尿の様子を確認しています。

この活動の目的は、尿道カテーテルをできるだけ早く外すことや、本当に必要なときだけ使うようにすることです。長くカテーテルを入れていると、細菌がついて感染を起こしやすくなるため、注意が必要です。（2週間で約半分の人が、1カ月でほぼ全員が細菌尿になると言われています）

また、カテーテルを外したあとに、うまく尿が出せない人や、頻繁にトイレに行く、失禁してしまうといったトラブルがある人には、私たちが関わって、自分の力で排尿できるようにサポートしています。

期待できること

尿道カテーテルを使わずに過ごせることは、患者さんの生活の質（QOL）を高めることにつながります。たとえば排尿がうまくできない状態でも、排尿ケアやお薬の治療を

通して、自分の力で排尿をコントロールできるようにすることを目指します。

また、頻尿や尿失禁などの蓄尿のトラブルがある場合にも、骨盤底筋体操・患者さんへの指導・薬の治療などを組み合わせてサポートします。こうした取り組みによって、患者さんがより快適に過ごせるようになることが期待できます。

今後の目標

現在、排尿自立支援の取り組みは主に外科病棟で行われていますが、今後は内科病棟にも積極的に関わっていくことを目指しています。院内全体でチームとして活動を広げていくことで、より質の高い医療の提供につなげていきます。そのためには、看護師・医師・薬剤師など多職種がそれぞれの専門性を発揮できる環境づくりがとても大切です。

排尿ケアチームの職種構成

泌尿器科医師、WOCN・コンチネンスリーダー（看護師）
作業療法士、薬剤師、医師事務作業補助者



ミーティングの様子



チームメンバーのみなさん

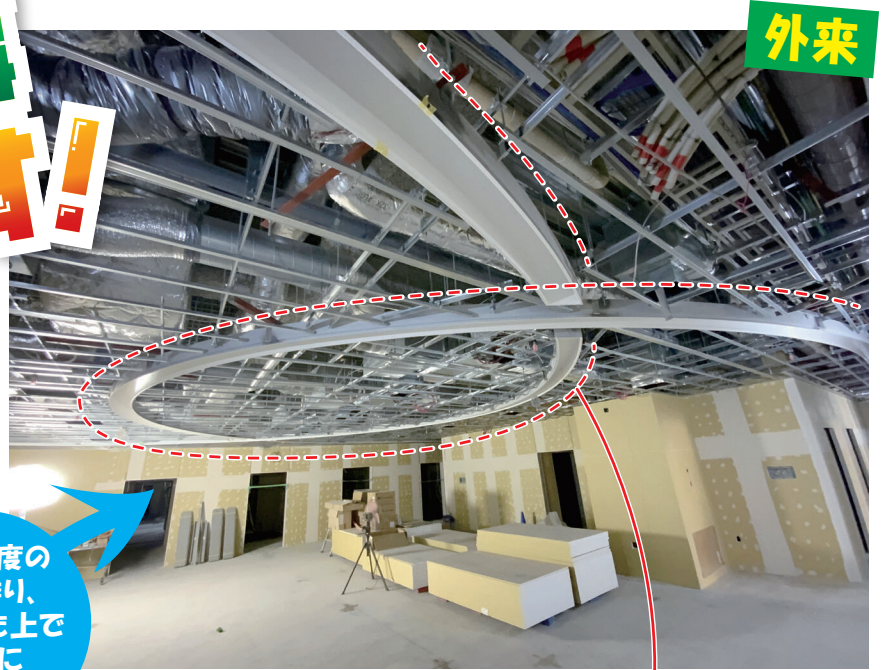
内装工事 進んでいます!

天井に照明の枠を取り付けています。

デザインキーワードである「**結**」を表現した

丸みのある形をしています、これは約1mの直線の枠が連なってできています。地面に置いた状態で結合し、天井に取り付けます。

ある程度の形を作り、確認した上で天井に取り付け



外来

照明や案内表示により患者さんを直感的に導く内装設計になっているよ

わくわくするデザインだね!



完成イメージ



MRI室

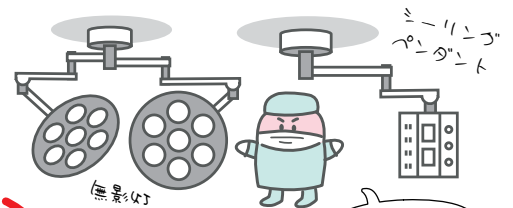


MRIは磁気を使う機器のため、壁は磁気に反応しにくい木製を使います。その後は壁クロスが貼られていきます。

MRI室は磁気が反応してしまう金属を使用していないんだね!



ここに、无影灯やシーリングペンダントを吊り下げます。重量に耐えられるようしっかりとした造りです。



イメージだよ

手術室



HEPAフィルター

空気の吸い込み口

また手術室は、吸い込み口から空気を吸い取り、HEPAフィルターを通して綺麗な空気を室内に入れるようになっているため、空気を清浄できます。

新任医師紹介



消化器外科

なかざと ひでし

仲里 秀次 科長

消化器がんを専門として患者様により良いがん医療を提供できるよう努めてまいります。



整形外科

き ゆ な たすく

喜友名 翼 科長

肩・肘の関節鏡手術、人工関節手術及びスポーツ整形を専門としています。痛みと機能の改善、スポーツ復帰のために全力で患者様をサポートします。



整形外科

た な か かすひろ

田中 一広 科長

本年度より着任いたしました。琉球大学14期卒です。脊椎外科を担当いたします。勢理宮先生、比嘉勝一郎先生と共に頑張ります。宜しくお願いいたします。



小児科

みやぎ いくま

宮城 伊久磨 医長

沖縄県出身、琉球大学卒業。那覇市立病院で初期研修、小児科医として勤務し、2023年4月～2025年3月の2年間東京都の東邦大学医療センター大森病院で新生児医療を勉強してきました。那覇市立病院NICUを盛り上げるために頑張ります。



小児科

まつかわ いたる

松川 格 医長

初めましてですが、興南高校出身で地元に戻ってきた気分です。経験してきた新生児医療を地元に戻元できればと思います。宜しくお願い致します。



消化器内科

すえよし のりひろ

末吉 徳彦 医長

祖父は伊平屋島に住んでいました。私は埼玉県出身ですが、琉球大学医学部卒業です。青森県で10年以上、医師として働いていましたが、このたび那覇市立病院で勤務することになりました。沖縄の方々少しでもお役に立てるように頑張ります。



総合診療科 専攻医

やすざわ ゆかり

安澤 由香利 医師

琉球大学病院第二内科、総合病院の内科外来、健診センター勤務を経て、西原町にある在宅医療専門の玄米クリニックで訪問診療に従事していました。医師11年目にして、総合診療専攻医として当院で再出発しています。患者様第一の診療を心がけてまいります。宜しくお願いいたします。



腎・泌尿器科

もとなが あおい

本永 葵 医師

2025年4月より那覇市立病院泌尿器科で勤務させていただくことになりました。皆さまのお役に立つよう努めていきますので、宜しくお願いいたします。



総合内科

かんの けいや

菅野 恵也 医長

これまで総合内科医として医療に携わってきましたが、より深い疾患管理を学ぶべく、6年ぶりに沖縄の地に戻ってきました。臨床のみならず研究の側面からも沖縄の方々の健康管理の一助になれるように努めさせていただきます。何卒よろしくお願い申し上げます。



内科 専攻医

なみひら ゆうき

波平 有貴 医師

琉大・第三内科入局後、今年1年またお世話になります。まだまだ未熟ですが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いします！



内科 専攻医

ふくはら りょう

福原 諒 医師

大学卒業後2023年4月から、初期臨床研修医として友愛医療センターに勤務しておりました。内科専攻医として2025年4月からこちらで勤務させていただいております。昔バレーボールをしていたので、今でもたまにやることがあります。院内にチームがあれば教えてください。医師としてはまだまだで、多々ご迷惑をおかけすることがあると思いますが、誠心誠意診療にあたりますので、あたたいご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



内科 専攻医

へあんざりこ

平安座 理子 医師

中頭病院にて初期研修を修了後、内科として勤務してまいりました。現在は内科医として研修を続けており、今回那覇市立病院にて研修をさせていただいております。日々いろいろなことを吸収し、今後の沖縄県の医療に貢献できるように努めてまいります。宜しくお願いいたします。



眼科 専攻医

あし み ね りょうや

安次嶺 僚哉 医師

友愛医療センターで初期研修後、琉球大学病院眼科に入局し主に大学病院で勤務しておりました。趣味は野球です。地域の皆様により良い医療をお届け出来る様日々精進いたします。どうぞ宜しくお願いいたします。



腎・泌尿器科 専攻医

なが み ね

長嶺 さつき 医師

沖縄県那覇市出身。琉球大学を卒後、那覇市立病院で初期研修を行い、琉球大学泌尿器科に入局後2年を経てまた帰って参りました。

研修医の時とは違った景色でまた気が引き締まる思いと、知ってる顔が多く楽しみな思いと半々です。まだまだ至らない点が多いかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



外科 専攻医

へ あ ん ざ あきら

平安座 啓 医師

はじめまして、医師5年目、外科の平安座啓です。那覇市立病院で1～3年目、琉球大学病院第一外科で4年目を勤めさせていただきました。今年から再度お世話になります、少しでもお役に立てるよう精進しますのでよろしくお願い致します。



初期研修医

うえ は ら わ こ

上原 和子 医師

浦添市出身。琉球大学卒業。那覇市立病院研修医22期生の上原和子です。趣味は旅行です。ご迷惑をお掛けすると思いますが、患者さんに寄り添えるよう、一生懸命頑張ります。ご指導よろしくお願い致します。



放射線科 専攻医

の は りょうこ

饒波 涼子 医師

昨年に放射線科へと入局し、琉球大学病院で勤務してまいりました。今年度は那覇市立病院で研修させていただくことになりました。日々研鑽し精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



形成外科 専攻医

か とう あい か

加藤 愛香 医師

沖縄県浦添出身。藤田医科大学卒業。琉球大学形成外科に入局後、浦添総合病院や琉球大学で勤務しました。那覇市立病院で、3回目の病院移転を経験できることを楽しみにしております。至らぬ点が多いと思いますが、頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。



初期研修医

お の そ ら

大野 空 医師

趣味はスポーツ観戦です。現地でプロ野球やイギリスのプレミアリーグなどの観戦をしましたが、個人的には甲子園の高校球児の熱気が好きでした。那覇市の医療に少しでも貢献するために尽力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。



初期研修医

や ま し ろ たか の ぶ

山城 貴紳 医師

沖縄県那覇市出身。琉球大学卒業。初期研修医としてお世話になります山城貴紳と申します。大学ではアイスホッケー部に所属していました。色々と迷惑をおかけするかもしれませんが、精一杯努めてまいりますので、よろしくお願い致します。



初期研修医

あ か み ね も も か

赤嶺 百香 医師

沖縄県那覇市出身。琉球大学卒業。初期研修医22期生の赤嶺百香です。大学では軽音楽部に所属し、キーボードをしていました。まだまだ未熟ですが、一生懸命頑張りますのでご指導よろしくお願い致します。



初期研修医

た か は し み う

高橋 美羽 医師

はじめまして。沖縄県出身、琉球大学を卒業しました高橋美羽と申します。大学ではダンス部と中国医学研究会に所属しておりました。趣味は旅行とヨガです。1日でも早く仕事を覚えて、皆様のお役に立てるよう努めてまいります。よろしくお願い致します。



初期研修医

し ま も と み う

島元 美羽 医師

沖縄県那覇市出身、昭和薬科大学附属高校卒業。琉球大学39期生です。趣味は美味しい物を食べる、特にパンが好きです。患者さんに寄りそい、丁寧な医療を心がけて成長できるよう頑張ります。ご指導よろしくお願い致します。



初期研修医

ほ り な が たか し

堀永 尚 医師

初めまして。4月から研修医1年目としてお世話になっております、堀永尚と申します。慶應義塾志木高校卒業、慶應義塾大学医学部から来ました。大学ではサッカー部に所属し、趣味は自然観察、昆虫採集、釣りです。患者さんに寄り添った医療を心がけます。精一杯頑張りますので、ご指導何卒よろしくお願い致します。



初期研修医

と だろ き ひろ ち

轟木 拓武 医師

宮崎県出身。長崎青雲高校、産業医科大学卒業です。中高はサッカー部、大学は陸上部に所属していました。趣味は旅行、フットサル、ランニングです。緊張してお腹を壊したり汗をかいだりご迷惑を掛けることがあるかもしれませんが、いまをだいにのモットーで一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。



初期研修医

な か む ら り え

仲村 理栄 医師

はじめまして。4月から初期研修医としてお世話になっております、仲村理栄と申します。琉球大学医学部39期生です。趣味は旅行と映画鑑賞です。色々とご迷惑をおかけすると思いますが、1日でも早く立派な医師になれるよう、日々精進していきますので、よろしくお願い致します。



初期研修医

お ち あ い と も い ち ろ う

落合 智一郎 医師

福岡県出身。西南学院高校卒業。愛知医科大学を卒業しました。小学校ではバスケット部、中高では陸上で槍を投げ、大学ではスノーボード部に所属していました。一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。

“緩和ケア週間”イベント報告

皆さんは「緩和ケア」についてどんなイメージをお持ちでしょうか？

2024年10月に緩和ケア普及啓発を目的に「緩和ケア週間イベント」を開催しました。

ポスター展示やミニレクチャーなどを行い、熱心に質問される患者さんも数多くおられました。病状はそれぞれ異なりますが、それぞれの立場で「緩和ケア」について考えるきっかけになったのではないかと思います。

アンケート結果では「緩和ケア」という言葉を知っている方は4割程で、以前に

比べ認知されていますが、まだまだ啓発が必要だと感じました。また7割が「緩和ケアについて知るきっかけになった」と回答され、イベント開催の意義があったと感じました。



ミニレクチャー開催

“糖尿病週間”イベント報告

世界糖尿病デーである11月14日を含む1週間は「全国糖尿病週間」です。2024年度のテーマは『みんなで正しく理解しようダイアベティス』でした。

“糖尿病”という名称から世界共通語の“ダイアベティス”への名称変更普及目的にて、当院でも11月11日～15日に1階受付前でポスター展示、パンフレット配布、糖尿病に関するビデオ上映や栄養士・看護師によるBMI、握力測定を行いました。11月14日は栄養士監修の弁当を準備してのランチョンセミナー、理学療法士による運動セミナー、看護師によるミニ講座も開催しました。



栄養士監修のお弁当



ポスター展示



運動セミナー

当院は病診連携を一層推進するために登録医制を設けております。オープンシステムも備えています。
お問い合わせは地域医療連携室まで！ TEL.098-884-5134（直通） FAX.098-886-5502

ミルミルクリニック

診療科目

- 一般内科
- 発熱外来
- 胃カメラ
- 大腸カメラ
- 各種ワクチン
- おなかミルミルドック

（症状はないけど胃カメラや大腸カメラを受けてみたい、とご要望の方に胃カメラ、大腸カメラ、腹部超音波のドックコースを準備しています。）

受付時間／曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前07:50～11:00	○	○	/	○	○	○*	/	/
午後13:00～15:30	○	○	/	○	○	○*	/	/

休診日：水曜日、日曜日、祝祭日、月1回土曜日不定休

※土曜のみ 08:50～11:30、13:30～16:00

※初診は受付終了時間の30分前までにお願いします。



院長 東新川 実和

女性のがん死因の原因で一番多いのは大腸がんです。大腸がんは早期発見で治療ができれば5年生存率は97%程度でほぼ完治ができるがんです。

女性は羞恥心や恐怖心から大腸カメラを避ける傾向があるため、進行して大腸がんが発見されるケースが多いのではないかと考えられています。

当院は医師だけでなく職員も女性で相談しやすい雰囲気づくりを目指していきます。

胃・大腸カメラだけでなく、おなかの症状やその他内科の症状についてぜひご相談ください。

住所／那覇市字国場271-1 3階

TEL.098-995-6569

こくば皮膚科

よくご相談をいただく症例

- アトピー性皮膚炎
- 湿疹（皮膚炎）
- にきび
- ヘルペス
- 水虫
- 乾癬
- イボ、水イボ
- 乾燥肌
- 伝染性膿痂疹（とびひ）
- 帯状疱疹
- 水痘

受付時間／曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前09:00～12:30	○	○	/	○	○	○ 9:00～13:30	/	/
午後14:00～16:30	○	○	/	○	○	/	/	/

休診日：水曜日、日曜日、祝祭日、土曜日午後

駐車場：43台あり（共用）



院長 平良 真希子

当クリニックは、赤ちゃんからご高齢の方まで幅広い年齢層の方々の皮膚のトラブル、病気に対応致します。

皮膚疾患は生命に関わるような疾患は多くはありませんが、人から見られるところであり、QOL(生活の質)に大きく影響を及ぼします。例えば、ニキビができたことで人に会いたくなくなったり外出を控えたり、逆にストレスから皮膚にかゆみを生じたりと、皮膚と精神は密接に関連します。

心と体の健康のためにも、皮膚を良い状態に保つことは重要なことだと考えます。

当クリニックのロゴマークにはニコニコマークが入っております。このロゴマークのように、患者さんがクリニックから出る時には笑顔になれるよう、スタッフ共々、日々研鑽して努めて参りたいと思います。



住所／那覇市字国場 271-1 ウズン・ビル国場 2A

TEL.098-851-3735

2025年、 新年度のご挨拶



那覇市立病院
理事長兼病院長 外間 浩

2025年度の新年度を迎え、新病院の竣工がいよいよ目前に迫りました。平素より当院の診療活動に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今年10月には、待望の新病院が開院する予定です。この節目の年を迎え、理事長として身の引き締まる思いです。

2024年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、働き方改革の推進、新病院の建設、心臓血管外科の立ち上げ、手術支援ロボット「ダヴィンチ」の導入、診療報酬改定への対応、そして国際医療支援室のJMIRP（日本医療機能評価機構 国際患者受入れ認証制度）

取得など多くの課題に取り組んでまいりました。

また、2025年度は看護部では55名の職員が入職し、医局には19名を超える新しい医師が加わりました。また、事務局にも多くの新しい人材を迎えることができました。これからも、地域住民の命と健康を守るという使命を共有しながら、県医師会、市医師会と連携し、より質の高い医療を提供していきたいと考えております。

医師の充実と 高度医療提供体制の強化

新病院の開院を控えるなか、医師の体制強化も着実に進んでいます。特に、悲願であった心臓血管外科の開設にあたり、関西医科大学 心臓血管外科診療講師であった安元浩医師をお迎えすることができました。また、今年4月には食道外科の仲里秀次医師、7月には新たに呼吸器外科の専門医が赴任する予定です。

この両分野における先生方の専門性と豊富な経験は、地域の皆さまにさらなる安心と信頼を

もたらし、当院の高度医療提供体制を一層充実させるものと確信しています。

地域医療連携の推進と 医師会との協力強化

地域医療を支えるためには、地域の医療機関や関係者との密接な連携が不可欠です。現在、県医師会や市医師会には、当院からも多くの医師が参加しております。今後も医師会との協力をさらに深めながら、「地域住民の健康を守る」という当院の使命をより強力に推し進めてまいります。

新病院開院に向けての 那覇市立病院の 「ホスピタルプライド」

新病院は琉球大学の移転に伴い、これまで以上に地域医療の中核を担う施設となります。那覇市立病院の職員としての誇りである「ホスピタルプライド」を胸に刻み、これまで築き上げてきた歴史と実績を引き継ぎながら、この「新たな門出」に全職員が一体となって取り組んでまいります。今後も地域住民に

とってより安心でき、信頼される施設となるためには、職員一人ひとりが生きがいを感じ、笑顔で働ける環境を整えることが重要だと考えております。そして、こうした環境の充実こそが、当院の理念である「和と奉仕」の実現につながるものと信じています。

職員一同この「ホスピタルプライド」を胸に、地域の皆さまとともに未来へ向かって力強く歩んでまいります。引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



那覇市立病院 新病院2025年10月1日 開院予定